

授業科目	外交史演習
演習題目	日本外交の重要論点
担当教員	中島琢磨
授業の目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外交の歴史や重要な政策事例を、時代ごとの国際政局や国内政治の動きを踏まえながら考察することを通じて、現代日本社会に対する理解と関心を深めること</li> <li>2. 文献の読解、発表、ディスカッションに関するスキルを習得し、高めること</li> </ol>
履修条件	・日本の政治外交や国際政治の分野に関心のある方
教科書・参考書	藤田直央『極秘文書が明かす戦後日本外交——歴代首相の政治決断に迫る』（朝日新聞出版、2025年）など。
授業の計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 憲法と国防（吉田茂政権期）、日ソ国交回復（鳩山一郎内閣）、安保改定と改憲（岸信介政権期）、日米半導体摩擦（中曽根康弘政権期）、天安門事件（竹下登、海部俊樹政権期）、ソ連クーデタ未遂（海部俊樹政権期）、核の傘（2000年代）など、日本外交をめぐる重要論点について、分担して報告し、ディスカッションを行います。 また、テキストで紹介されている外交文書の一部を閲覧、読解する予定です。</li> <li>2. 各回の報告は、レジュメまたはPPT資料を準備して行います。報告後に、サブ・グループに分かれてディスカッションを行います。</li> <li>3. 行政政策事例研究の回では、特定の政策命題を参加者で話し合っ決めてうえで、主要争点を調べ、政策討議を行う予定です。そのほか、各自でテーマを設定してリサーチ・ペーパーを執筆する予定です。</li> <li>4. 2025年度と同様の形で、他大学（慶応義塾大学等）との合同ゼミの開催（2025年度はシナリオに基づく政策ブリーフィングの発表と討論を実施）と、講演会（2025年は笠間毅 NHK 那覇放送局長による講演会等を実施）を予定しています。</li> </ol>
成績評価の方法	・出席と授業への参加状況から、総合的に評価します。